

第31号

ほそごう地域コミュニティ推進協議会  
 〈細河地区〉  
 NPO法人 細河みどりの郷  
 〒563-0013 大阪府池田市巾着原町216-2  
 TEL/FAX 072-754-5711  
 E-mail:hcms@iris.eonet.ne.jp  
 URL <http://hosokawa-midorinosato.com>

# 細河地域 コミュニティ ニュース

## 第36回 守ろうふるさと 細河まつり'22



●オープニングは、ほそごう学園金管クラブと吹奏楽部のすてきな演奏でした。



7月30日(土)旧細河小学校に、3年ぶりにまつりがもどってきました。



●ペアジュース缶つみゲームが小・中学生対象 高校生以上対象の二部で行われました。



●恒例のビンゴゲーム大会。ニンテンドースウィッチなど、豪華賞品が用意されました。



●たくさんの夜店が出ました。



●まつりの最後は和太鼓疾風による力強い演奏でしめくられました。

大玉運び



壁ドンリレー



ジャパン競争



足で勝抜けじゃんけん



紅白玉入れ合戦



## 細河地区 “三二運動会”

10月9日(日)  
旧細河小学校体育館で  
三二運動会が行われました。



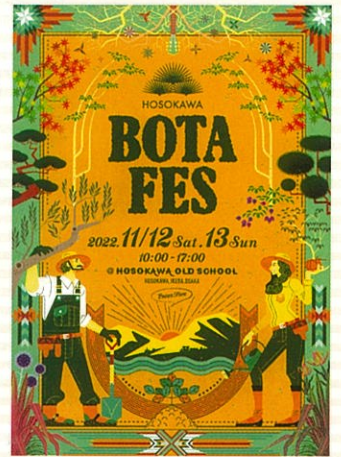
●ラジオ体操ではじまりました。



●ジャンプでGET!

# いらっしゃ〜い♪細河の地へ

今年も「植木の聖地、細河から生み出す“植物由来”なファスティバル」ポタフェスが、11月12日（土）13日（日）と2日間にわたって旧細河小学校で行われました。2日目はあいにくの雨で13時に中止、撤収を余儀なくされましたが、それでも傘を差しながら多くの方が参加してくださいました。



会場全体を植木で装飾



〜植木職人とアーティストが力を合わせて構成〜



きれいに  
装飾された  
トイレ



個性溢れるブース  
楽しい企画も  
いっぱい



●葉っぱや枝、まつぼっくりを使って自由に制作



●児童館の工作教室



●ゴリラ  
からやぎが  
やってきた



●大人気のふわふわ遊具

自然と動物にふれあう  
〜キッズコーナー〜

# ほそごう学園の子どもたちも大活躍



5年生が「スマイルファーム細河」の宣伝と「スマイル玉ねぎ」の皮を使った染め物を、3年生が「細河大根」と間伐材を使ったコースターの販売をしました。

3年生



●前日に収穫した大根を当日新聞紙に包んで売りました。



●自分たちでリメイクしたコースターを販売。



●パンフレットを作ってスマイルファーム細河の宣伝をしました。



5年生

●玉ねぎの皮できれいな黄色に染まりました。



●キッズコーナーのお手伝いもしました。



●ステージでは「地域のいいところ」を紹介しました。

## コミ協&みどりの郷 ～ポタフェスで～



●大根やコースター、ポタフェスについてのアンケートをしました。



●キッズコーナーで絵本の読み聞かせをしました。



●「ほそかわ大根のすてき！ほそごうコースターのすてき！」を発表しました。



●原木しいたけと  
いっしょに

## 焼き芋、 しいたけの販売



●配食サービスや学校連携などの取り組みについて報告しました。



●炭焼き器で



●オーブンで  
焼いて



●紅はるかが甘いと  
大人気



## スタッフへの 食事の提供

## ええとこ細河

11月23日(水)、市主催の細河を巡るバスツアーで、みどりの郷に来られた方に、大根の収穫体験と福祉部会のメンバーが作った芋入りぜんざいを食べていただきました。細河の竹炭と間伐材を輪切りにしたものもおみやげに持って帰ってもらいました。



●芋入り  
ぜんざい



●福祉部会のメンバーが、前日と当日の朝早くから準備しました。



●1日目はカレー



●2日目は豚汁と大根菜・梅のおにぎり



●スタッフから「おいしい、あたたまる」と大好評

こんなに大きな  
大根が掘れたよ

# 地域の子どもたちに



夏の恒例行事、不死王閣でのプール遊び。みんな楽しそうに泳いだり、スタッフが用意した食事をおいしそうに食べていました。

## 不死王閣のプールでふれあい

8月28日（日）



## おいも畑でふれあい

11月20日（日）

秋の味覚、さつまいもの収穫体験。雨の予報だったため、前日にも収穫に行きましたが、当日も掘ることができ、掘った芋と焼き芋のおみやげを持って帰りました。



### 3年生と大根ひきと間伐



### 2年生とおいも掘り

## ほそごう学園と連携して

園芸高校の生徒が育てたキンセンカの苗を伏尾台花の会、7年生、3年生がいっしょにポットに植え替えました。



### 3、7年生と花いっぱい運動



## 地域の活動紹介

### お花をアレンジしてみませんか

毎月第三土曜日 10時からみどりの郷案内所でお花の講座をしています。



## 第二回細河地区住民懇談会

9月11日（日）、細河コミュニティセンターにおいて、第2回細河地区住民懇談会が行われました。コミュニティ推進協議会会員、地区福祉委員、民生児童委員、生活支援コーディネーターなど13名が2つのグループに分かれて、第1回住民懇談会で考えた理想の地域実現のために何ができるかについて話し合いました。



交通手段の確保、耕作放棄地や空き家の有効利用、誰もが安心して暮らせるためのつながりづくり、イベントなどを通じての細河の魅力発信、人口を増やすためのさまざまな企画など、今後地域と市が協働して地域のまちづくりに取り組んでいきます。



大阪で一番！「世界に誇れる安全で安心なまち池田」をめざして！！

防犯・防災

細河地域 犯罪・災害発生状況

2022年 1/1～10/31

|  |            |         |              |      |
|--|------------|---------|--------------|------|
|  | <b>犯罪</b>  | ●強制わいせつ | 1 件          |      |
|  | ●空き巣・侵入    | 1 件     | ●占有離脱物横領 その他 |      |
|  | ●バイク・自転車盗難 | 4 件     | <b>災害</b>    |      |
|  | ●車上ねらい     | 1 件     | ●交通事故        | 21 件 |
|  | ●非侵入窃盗 その他 | 4 件     | ●火災          | 2 件  |
|  | ●払出盗       | 1 件     | ●台風（大型）      | 0 件  |
|  | ●万引き       | 3 件     | ●地震          | 0 件  |
|  | ●器物損壊 等    | 3 件     | ●水害          | 0 件  |

**ええトコ** 池田焼<佳生窯>

2000年に大阪府池田市の五月山北部（細河）で出土した珍しいブルー色の粘土（五色土）を精製し、佳生窯にて焼き締めた陶器です。その作品は独特の土の質感・色彩を有し、茶器・酒器・和食器・花器等、日常生活用器に最適でシンプルにて落ち着いた渋系のデザイン・色合いを重視し作陶しております。当地の焼き物として地元の人びとの生活の中に永く愛用される陶器として、作り続けております。

現在、池田焼継承者募集中です。



●五月山で粘土掘りの作業



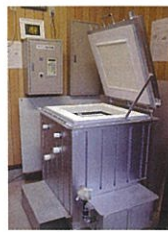
●粘土



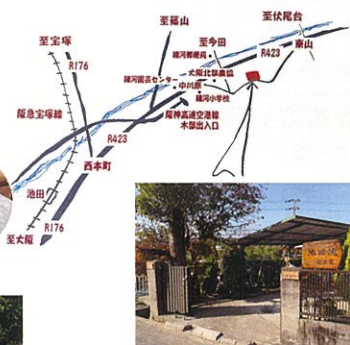
●ろくろを使っでの作業



●素焼きした作品



●電気釜



●釉薬をつけて仕上げた作品



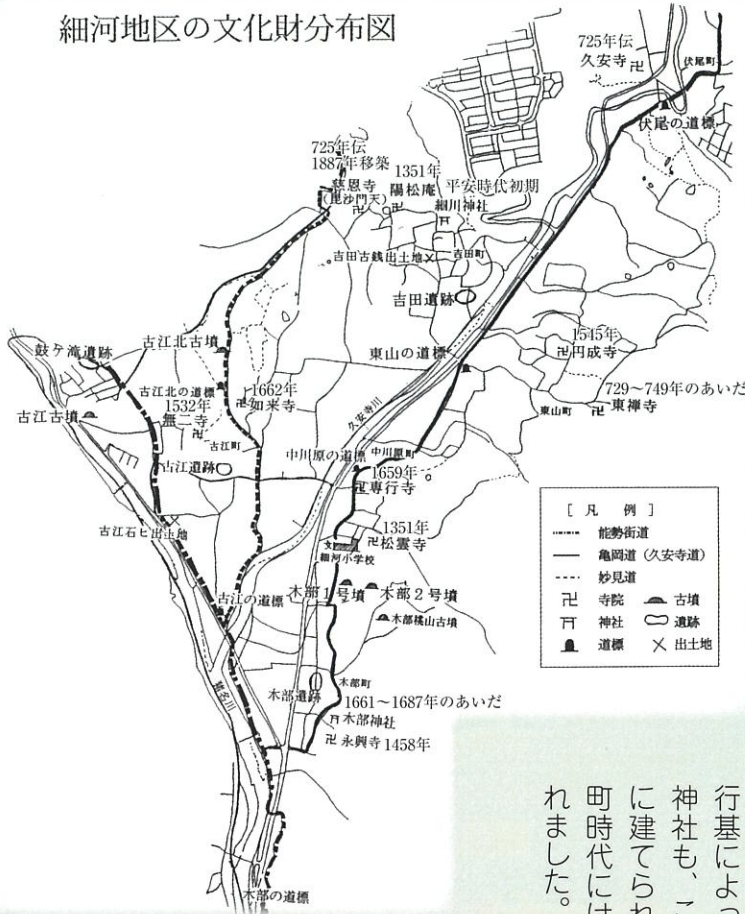
●所在地 〒563-0013 大阪府池田市中川原町 225-1 池田焼 佳生窯 陶工 西野佳彦  
 ●URL <http://ikedayaki.com/>  
 ●e-mail [ausamv400@wombat.zaq.ne.jp](mailto:ausamv400@wombat.zaq.ne.jp)  
 ●電話・FAX 072-752-1675 (090-4300-2566)

# 細河歴史・文化遺産

## 細河地域の遺跡と寺社

細河は、古い坂山地の南縁にあたり、多田、能勢、妙見方面と、大阪（難波）とを結び、交通路が集まってできている所で、谷口集落として栄えた池田（今の新町、綾羽、西本町など）に続く村で、人々の往来もさかんでした。

細河地区の文化財分布図



### 久安寺

伏尾にある久安寺は、七二五年、行基によって建てられたと言われています。その後、空海が真言宗を広める場となりました。一一四〇年、金堂・講堂などが、火事で焼けましたが、一四四五（久安元）年、堅実上人によって、楼門・講堂が再建されました。その時、久安寺と名づけられました。寺が栄えていた頃は、久安寺川のところまで、たくさんの建物がならんでいました。また、久安寺楼門の優雅な屋根（水平のない軒返り）は、とても美しく国の重要文化財に指定されています。

紫雲寺・等覚寺も久安寺と同じ頃、行基によって建てられました。細川神社も、これらの寺と同じ年代の頃に建てられたと言われています。室町時代には陽松庵・松雲寺が建てられました。



### 和泉式部の墓と狩りの話（無二庵）

古江町の無二寺の東側の墓地に、一三九九（貞和五）年と北朝の年号のある立派な宝篋印塔（梵語の呪文を書きして納めた経塔）があります。これが和泉式部の墓と伝えられているものです。

この話は、今から九五〇年ほど前のことです。

和泉式部という情熱の歌人の二度目の夫が平井村（宝塚市）出身の平井保昌（丹後守）であり、晩年二人は出身地に近い池田市の古江に住んでいたらしいのです。

ある秋の夜のこと、保昌は「明日の朝早く鹿狩りにゆこう」と考え、弓や矢をみがいて準備をしておりました。すると裏山から、悲しい鹿の声がしきりに聞こえてきました。これを聞いた和泉式部は「ことわりやいかでか鹿の鳴かざらん、こよい限りの命と思へば」と一句を口ずさみました。これをそばで聞いていた保昌は「ぎゅっ」と胸がさされる思いがし、こんなかわいそうなことをしてはいけないと思い、鹿狩りに出るのを思いとどまりました。

それから、この村の人々は鹿狩りにゆく時、この墓の前を通ると不思議と獲物がとれなくなると伝えられています。

（郷土学習教材「ほそかわ 6年生」より）